

工業会の女性社員本音トークが炸裂



厨房業界と現在の会社に入ったきっかけについて教えてください。

関根 食べることが好きで、食に興味があったため、大学も栄養学が学べる大学に進学しました。就活の時に就活情報サイトで食に関係する企業を探していて、そこでマルゼンを見つけ、厨房業界に出会いました。とりあえず説明会に行ってみると、展示会や講習会などで自社製品を使って料理を作りながらPRするという部署があることを聞き、大変興味を持ち、魅力的な仕事だなと思って選考に進み、無事内定をいただきました。

熊谷 「とにかく食で世の中に影響を与えたい！」という信念の下、食に関わるありとあらゆる仕事を探しました。路頭に迷ったところ、学校の先生からチケットをもらい、展示会に行ったことがきっかけでした。そこでさまざまな厨房機器と出会い、厨房

業界ならより多くの食に携われそう！とひらめき、説明会に行ったところ、業務内容がとてもワクワクしたので入社しました。大好きな「食」を仕事にできて大変うれしく思っています。

笠原 仕事内容を見て、「これだ！ かつこいいー！」と一瞬で惹かれました。お客さまの前で機械や調理についてプレゼンする、メニュー開発、調理実験など……思い描いていた仕事で目がキラキラと輝きました（笑）。期待を胸に働き始めて、マルゼンや厨房業界を知っていくにつれて、夢はもっともっと広がって行きました。しかしまだまだ至らない点ばかりなので、これから一歩ずつ夢をかなえていきます！

お仕事の内容は？ やりがいは？

関根 全国で行われる講習会、ビッグサイト等で行われる展示会で、弊社の主力製品であるスーパースチームやベーカリー機器を使って、料理やパン、菓子類を作りながら実演を行います。参加されるお客さまは、保育園・学校給食・病院・一般飲食と、業種もさまざまで、初心者の方から使い慣れている方までレベルもさまざまなので、それに応じて話す内容、メニューの構成も変えて行かなければいけません。そこが難しい部分ですが、「お客さまにこんな使い方があるんだね」とか「メニュー提案したレシピが喫食者から好評なんです！」というお声をいただいた時は大変うれしいですね！ 逆にお客さまから教えていただくことも多く、大変勉強になります。

熊谷 私は主にベーカリー関連を担当しているのですが、粉からこね上げたパンたちがマルゼンのオープンを使って思い通りに焼き上がると、この上ない達成感と同時に、がんばって来て良かったなあと感じます。また、講習会などでお客さまからの質問や相談に答え、感謝された時は一層のやりがいを感じる瞬間です。そして何よりも、自分の作ったものでさまざまな人と「おいしい」の共感ができる幸せは、この仕事ならではの楽しみです。

笠原 何と言っても「おいしい！」や「そうなんだ！」など、お客さまの笑顔が見られることが一番の幸せです。そのお客さまが現場に帰られて実践し、さらに多



厨房設備機器展にて。左から関根麻貴さん、笠原瑠利子さん、熊谷春菜さん



笠原瑠利子さん

関根麻貴さん

熊谷春菜さん

くの方の「おいしい！」につながっていると思うと、最高の喜びです。たくさんの人に影響を与えることができる仕事だから、やりがいも責任も大きいです。マルゼン製品を快適に便利に使っていただけるように、「おいしい！」笑顔のために、調理や機械のことを研究し、勉強して行きます！

今後のあなたの夢を教えてください。

関根 講習会や展示会に来られるお客さまは業種やレベルがさまざまなので、もっと対応できるように知識や経験を積みたいです。その手段として、有名店や大規模な施設等に導入していただいたお客さまにしばらく使っていた後に、どんな使い方をされているか、使い心地などを取材に行ってみたいですね。それを記事にしてまた別のお客さまに配れば、購入を検討中のお客さまの後押しになったり、私たちが知らなかった使い方や発見できるかもしれないので、良い経験になると思います。

熊谷 夢はたくさんありますが、大きな夢としてはマルゼンのパン屋さんを経営したいです。使いやすい作業動線とカッコいい厨房機器で、見せる厨房にします。従業員は新人営業マンで、研修も兼ねて機器を使いこなすことで、よりリアルな営業ができる

と思います。街のパン屋としてさまざまな人に気軽に利用してもらい、マルゼンをより世の中に身近な存在にしたいです。また、そこで経験した経営方法や技術やヒット商品は、講習会などでお客さまにしっかりフィードバックします！

笠原 夢は製品の開発にゼロから携わることです。「栄養士がプロデュースしたスチコン」などができたら、おもしろいですよね。どんな機械、どんな機能が欲しいかお客さまからも情報を集めて、使いやすく、使っていて楽しくて、栄養士ならではの製品を提案したいです。その他にも、マルゼン社員が健康で笑顔でがんばるように社員食堂を運営してみたいし、小さい夢から大きな夢までたくさんあります。